

2月定例教育委員会 会議録

日 時	令和3年2月10日(水) 午前11時00分～午前11時30分
場 所	甲府市役所 9階 会議室9-2
出席委員	數野教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員
出席事務局職員	饗場教育部長・土屋教育総室長・板山生涯学習室長(生涯学習課長兼任)・樋口総務課長・宮川総務課課長補佐・橘田総務課課長補佐・吉田総務課主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 市川職務代理者

・1月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

數野

末木

市川

岡田

原

1 開会

數野教育長

これより2月定例教育委員会を開会します。

(1) 教育委員あいさつ

市川職務代理者

皆さん、おはようございます。

新型コロナウイルスによる肺炎の蔓延は、先月11都府県に緊急事態宣言が出されて以来、減少傾向は見られるものの、今月に入り10都府県で緊急事態宣言が延長されるなど、なかなか先が見えない状況であります。こうした中、教育委員会の職員の皆さま、市内学校の教職員の皆さまの日々のご尽力には、心より敬意を表するものであります。

さて、コロナウィルスの流行が始まって以来、リモートやオンラインといった言葉がよく聞かれるようになりました。学校の授業もオンラインで行うことの利点が強調されるようになって感じています。非接触であることは、こうした感染症対策としては効果的であることは間違いありません。ただ、今後、オンライン授業が進められるとしたら少し心配になることがあります。

それは、先生方がオンライン授業のノウハウ、つまり授業技術をどの程度お持ちになって

いるかということです。また、受ける側の子どもたちには、オンラインでの学習スキルをどのくらい身に付けているのかということです。

通常の対面型授業では、これまで長きにわたり、どこの学校でも授業のあり方について、研究と研修を重ね、その技術を磨いてきました。この成果が、現在の学校での学習・授業を支えています。子どもたちは、先生方とともに話しの聞き方、意見の言い方、何をどのように考えるか等々、学習スキルを身に付け、学習する力を高めてきたわけです。私としましては、主体的・対話的で深い学びはこうしたスキルがあって初めて成り立つものであり、その中で思考力、判断力、表現力も育っていくものだと思っています。

私自身は、オンラインでの授業は行った経験も受けた経験もありません。ずっと画面を見て教師の話しを聞いているだけなら、放送大学のテレビ放送やかつてのラジオ講座といった印象で、一方的に情報が提示されるだけになってしまい、子どもたちへの個別の対応などが難しくなってしまう。もちろん、現在のオンラインのシステムは、今挙げた前時代的なものとは比べようもなく進歩しているでしょうが、対面型授業で教師や子どもたちが培ってきたものや培おうとしてきたものは、オンラインの中でどう役に立つのか、また、これまでになかったどんな授業技術や学習スキルが必要になるのかというようなことを明らかにしていく必要があるのではないかと思います。ICT環境が急速に整備され、GIGAスクール構想が進められていく情勢にあって、益々注目度を高めていくオンライン学習を効果的に進めていくための課題は多いと思います。もうすでに行っているとは思いますが、昨年、休校時に教育委員会で作成したビデオ教材が、子どもたちにとってどうだったのかの検証から得るところは大きいように思います。

学習指導要領には、急激な社会の変化に対応できる資質や能力を育成することを目指したものではありませんが、これほど急激に進むコロナ過は想定外だろうと思います。しかし、ポストコロナを見据えつつ、現状を踏まえ、これからの学校のあり方、学習活動の展開の仕方、子どもたちに育てていくべき学び方など、その方途を探っていくことが重要ではないかと思っています。

とはいえ、こうした新しい課題のある状況は、先生方の負担がどうか、あるいは子どもたちの負担はどうかと心配になってくることも事実です。そうした課題があることから、今後是非、研究を進めていただけたらと思います。

ご清聴ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

数野教育長

会議録の署名委員は、市川職務代理者をお願いします。

(3) 前回会議録の承認

数野教育長

前回の議事録について、何かご意見ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 報告

數野教育長

第2号 なでしこ賞・撫子賞の表彰について、寺田学校教育課長から説明をお願いします。

(寺田学校教育課長より資料に沿って説明)

數野教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

原委員

学校からの推薦を受けてとのお話しでしたが、それは先生方の推薦をまとめて校長先生からとということでしょうか。

寺田学校教育課長

最終的には、決定権者である校長先生から推薦をいただきますが、その候補を絞る中では、まず教員の方から候補者を出していただいて、最終的には校長の方で決定し、こちらに推薦をいただく形で、この賞自体が、特別何かで入賞したとかではなくて、普段の行いをよく見てということですので、結果的に先生方は、子どもをよく見たり、子どもの声をよく聞く中で、選ばれてきているのではないかなと考えております。

原委員

子ども同士が、先生が見ていない所で子どもたちが見て、何々ちゃんはいい事をしているなあとか、掃除をよくしているとか、困った人を助けているとか、結構、子どもって見ているところがあるんですが、そういう子どもの目線での推薦という変な言い方ですが、声を拾う事はできないのでしょうか。

寺田学校教育課長

なでしこ賞・撫子賞に推薦するからという形で、子どもたちに聞き取りやアンケートをしている事はないと思うのですが、学期に1回程度、いじめの問題アンケートだけではなく、友だちのよい行いとか、そういうことを各学校が創意工夫して、子どもから聞き取ったり、書いてもらっていますので、教員が選考する際には、子どもたちの声が参考になっていると考えています。

原委員

是非、子どもたちの声も拾ってくださるようお願いしたいと思います。

數野教育長

他にないでしょうか。

よろしいでしょうか。

では原案の通り決定するということよろしいでしょうか。

では原案のとおり決定いたしました。

【原案のとおり決定】

(教育委員会承認)

3 その他

数野教育長

他には何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

4 閉会

数野教育長

それではこれもちまして、2月定例教育委員会を閉会します。